

令和５年度第３回ふなばし市民大学校運営協議会会議録

(令和６年５月１３日作成)

１ 開催日時

令和６年３月２５日（月曜日）１６時００分～１６時５９分

２ 開催場所

ふなばし市民大学校 ６階 第１教室

３ 出席者

- (１) 委員 高山委員（会長）、石川委員（副会長）、山口委員、山須委員、川田委員、山本委員、田中委員、石山委員、松丸委員
- (２) 事務局 藤井社会教育課長、大橋主査、亀田副主査、捧副主査、木内主任主事、岡本主任主事、古川主事

４ 欠席者 なし

５ 議題及び公開・非公開の別並びに非公開の場合にあっては、その理由

- (１) 令和５年度修了生について
- (２) 令和６年度応募状況について
- (３) 令和６年度カリキュラムについて
- (４) 市民スマホコンシェルジュ養成講座の実施報告について
- (５) 特別講座ふなばしソーシャルビジネスコースの実施報告について
- (６) その他

※すべて公開

６ 傍聴者数 ０人

７ 決定事項

- (１) 令和５年度修了生について、事務局から報告があり、質疑応答及び意見

聴取を行った。

- (2) 令和6年度応募状況について、事務局から報告があり、質疑応答及び意見聴取を行った。
- (3) 令和6年度カリキュラムについて、事務局から報告があり、質疑応答及び意見聴取を行った。
- (4) 市民スマホコンシェルジュ養成講座の実施報告について、事務局から報告があり、質疑応答及び意見聴取を行った。
- (5) 特別講座ふなばしソーシャルビジネスコースの実施について、事務局から報告があり、質疑応答及び意見聴取を行った。

8 議事

次のとおり

9 資料・特記事項

(1) 資料

別紙のとおり

(2) 特記事項

今回は、令和6年8月に開催予定です。開催日時等は、後日お知らせします。

10 問い合わせ先

船橋市教育委員会 生涯学習部 社会教育課 庶務施設係

047-436-2892

16時00分開会

○高山会長

ただいまより令和5年度第3回ふなばし市民大学校運営協議会を開会いたします。

まず、本日の出欠状況について、事務局からご報告願います。

○事務局（大橋主査）

事務局から本日の出欠状況をご報告いたします。

本日は、ふなばし市民大学校運営協議会委員9名に対し、9名の出席をいただいております。

○高山会長

ありがとうございました。

次に、会議の公開及び傍聴について、事務局からご報告願います。

○事務局（大橋主査）

最初に、会議の公開について報告をいたします。船橋市情報公開条例第26条の規定に基づき設置する附属機関及びこれに準ずるものの会議は、原則として公開することになっております。本会議もこれに基づき原則公開となります。また、船橋市附属機関等の会議の公開実施要綱に基づき、会議終了後おおむね1週間以内に会議概要を公表し、その後個々の委員の発言内容も含めまして審議経過等が明確となるように会議記録を作成し、委員名簿も含めて市のホームページで公開いたします。そのため、本日は会議を録音させていただきますことをご了承ください。

続きまして、傍聴人について報告をいたします。傍聴人の受付を行いました。傍聴希望はございませんでした。

○高山会長

それでは、議事に移ります。

本日の会議の議題は、お手元に配付した次第のとおり、議題1「令和5年度修了生について」、議題2「令和6年度応募状況について」、議題3「令和6年度カリキュラムについて」、議題4「市民スマホコンシェルジュ養成講座の実施報告について」、議題5「特別講座ふなばしソーシャルビジネスコースの実施報告について」、議題6「その他」とし、この順で進めたいと思いますが、よろしいでしょうか。

ありがとうございます。

それでは、議事に入ります。

議題1「令和5年度修了生について」、事務局から説明をお願いいたします。

○事務局（大橋主査）

ふなばし市民大学校事務局の大橋です。それでは着座にて失礼いたします。

令和5年度修了生についてご報告をいたします。資料1「令和5年度ふなばし市民大学校在籍者数（追加募集含む全体）」をご覧ください。

令和5年4月30日に入学式を行いまして、まちづくり学部100名、いきいき学部278名の合計378名が入学いたしました。各学科のカリキュラムに基づきまして年度を通して授業を実施し、令和6年3月10日に修了式を行い、在籍者数の一番下のところですが、363名の方が修了いたしました。

修了者数は令和4年度と比べまして35名の増加となっております。退学者数は一番右側の列ですが15名で、体調不良によるものが最も多く9名となっております。在籍者率、修了者率とも言えると思いますが、これを見ますと96.03%と、過去4年間で最も高い数値であった令和4年度の94.52%を超える高い修了率となりました。

議題1「令和5年度の修了生について」、報告は以上となります。

○高山会長

ありがとうございました。

ただいまの議題1「令和5年度修了生について」、質問等がありましたらお願いいたします。

特段よろしいですか。

それでは議題1を終了いたします。

続きまして、議題2「令和6年度応募状況について」の議事に入ります。

事務局から説明をお願いします。

○事務局（大橋主査）

では、続きまして、令和6年度の実績についてご説明をいたします。

まず、資料の2-1「令和6年度ふなばし市民大学出願状況一覧（一次募集）」をご覧ください。

令和5年12月1日の広報ふなばしに掲載をいたしまして、12月1日より受付を開始いたしました。期間としては、令和6年1月22日消印有効まで募集したものの集計でご

ざいます。

申込者数のところ、まちづくり学部が89名、いきいき学部が225名、合計314名の応募がございました。

そして、申込者数が定員を超えた2つの学科につきまして、公開抽選会を行いました。資料2-2をご覧ください。こちらが一次募集の公開抽選会の結果となります。定員を超えたふなばしマイスター学科とパソコン学科1につきまして、2月1日に公開抽選会を行い、高山会長と石川副会長に立ち会っていただきまして、くじ引きと抽選記録の作成をお願いいたしました。高山会長と石川会長には、お忙しい中ご協力いただきまして、ありがとうございます。

そして、申込者数314名に対して、入学決定者が306名、補欠の方が7名、落選の方が1名となりまして、一番右側の空きのある学科については、二次募集を実施いたしました。なお、抽選の結果については2月8日に応募者に発送させていただいております。

続いて、資料2-3をご覧ください。こちらは二次募集のご案内ですが、二次募集は令和6年2月15日号の広報ふなばしなどに掲載しまして、同日より受付を開始、3月7日（木）必着で受付を行いました。このご案内は、一次募集で補欠や落選された方に同封した文書となります。

続きまして、資料2-4、こちらが令和6年度出願状況一覧（二次募集）になります。先ほどお伝えしたとおり、二次募集は2月15日から3月7日まで行いまして、合計96名の申込みがございました。

こちらの最終募集人数というものですが、資料2-2に記載をしています一番右側にある二次募集の人数に一次募集で入学を辞退された人数を加えているために人数が増えております。

続きまして、資料2-5をご覧ください。令和6年度二次募集の公開抽選会の結果になります。最終募集人数を超えましたパソコン学科2、パソコン学科3、この2つの学科について3月14日に公開抽選会を行い、高山会長と石川副会長にくじ引きと抽選記録の作成をお願いいたしました。

申込者数96人に対して入学決定が83名、補欠の方が13名、落選者はおりませんでした。この二次募集の抽選結果につきましては、3月18日に応募者に発送させていただいております。

最後に、2-6をご覧ください。こちらが一次募集と二次募集を合計した出願状況とな

ります。令和５年度の募集と比べますと申込者数は４６０件から４１０件と５０件の減少となっております。

定員以上の申込みがあった学科、倍率が１．００以上のところにつきましては、生涯学習コーディネーター養成学科、ふなばしマイスター学科、くらしの教養１．２、パソコン１・２・３、園芸１となっております。

平均年齢は、まちづくり学部が６７．９歳、いきいき学部が６９．８歳と、令和５年度の募集と比較しますと、まちづくり学部で０．２ポイント高く、いきいき学部では０．７ポイント低くなっております。

学科で見ますと例年どおりふなばしマイスター学科の申込みが多くなったほか、令和６年度は生涯学習コーディネーター養成学科の申込みも多くなりました。

全体としましては、くらしの教養学科を除き、午前・午後あるようなクラスについては、午前中の授業の申込みが多い傾向が見られております。

令和６年度の学生の応募状況については、ご報告が以上となります。

今後は４月８日の週から各学科のオリエンテーションを行いまして、４月２７日に開催する入学式をもって入学者が確定いたしますので、入学者の状況につきましては次回の運営協議会でご報告させていただきます。

議題２の報告については以上となります。

○高山会長

ありがとうございました。

議題２の令和６年度一次募集・二次募集を踏まえた応募状況について、質問等がありましたらお願いいたします。

どうぞ、石川副会長。

○石川副会長

昨年度もそうですが、例年、二次募集までやらないとどうしても集まらないという傾向になっています。それは、一次募集の在り方が、期間でありますとか、告知が早すぎるとか、応募期間が短いとか、そういうような検討しなければいけないような事項はないのかどうか。一次募集で全部そろえば事務作業も容易ですし、二度手間みたい形になっていくので、一次募集の方法についても、もう少し検討することがないのかどうか、その辺ちょっとお聞かせいただければと思います。

○事務局（大橋主査）

一次募集につきましては、平成31年度の学生募集から、日数をそれまで46日くらいだったものを54日くらい取るように、期間を長く持っています。一次募集でいっぱい入ればそれで終わるのですが、二次募集は、例えば、もう一回空いているなら他の学科を申し込んでみようかという意識づけにもなると考えておりまして、一次募集の期間を長くしてしまうと、そういった二次募集にチャンスがなくなってしまうというのもあります。今年度も例えば市内のイオンにご協力いただきにポスターを掲示させていただいたり、新たな取組みは行ったのですけれども、前年度と比べると件数が減っておりますので、その辺はまた広報の在り方を、新しいものが何かできないかどうかという検討していきたいなと思っています。

○石川副会長

ありがとうございます。

○高山会長

一次募集の在り方も含めて、日頃のPRですよね。それがやっぱり大事だと思います。

○事務局（大橋主査）

締め切ってから、「募集受付していないんですか」というお問い合わせもいただきまして、意外に知られていないんだなというのが分かりましたので、なるべく多くの媒体を使って利用者の方の目に入るようなことを考えていきたいと思っています。

○高山会長

そのほか何かご質問ございますか。

よろしければ、それでは議題2を終了いたします。

続きまして、議題3「令和6年度カリキュラムについて」の議事に入ります。

事務局から説明をお願いいたします。

○事務局（木内主任主事）

ふなばし市民大学校事務局、木内です。

お手元資料の「令和6年度ボランティア養成学科カリキュラム」から始まるホチキス留めの資料をご覧ください。

それでは、令和6年度ふなばし市民大学校のカリキュラムについて、ご説明いたします。

令和6年度のふなばし市民大学校のカリキュラムにつきましては、令和5年度のカリキュラムを基にしながら、カリキュラム編成会議での委員からの助言ですとか学生からのアンケート等を考慮しまして、毎年手を加えて作成をしております。

ボランティア養成学科から変更点等につきまして、順次ご説明いたします。

ボランティア養成学科につきましては、令和5年度のカリキュラムから一部改正しまして、「干潟の自然体験（フィールドワーク）」という授業の追加、もう一点が、「実習受入団体プレゼンテーション」開催時間の変更を行っております。

「干潟の自然体験（フィールドワーク）」につきましては、これまでなかったのですが、環境保全に関するボランティアに興味のある方の要望が多くありましたため、船橋市の魅力でもある三番瀬での授業を追加いたしました。

また、「実習受入団体プレゼンテーション」の開催時間の変更につきましては、令和5年度は午前・午後の1日で行っていましたが、基本的にボランティア養成学科の授業開催日時が水曜日の10時から12時となっておりまして、午後の開催は参加できないという方が多くいらっしゃったため、午前での実施を2回行うことで対応することと変更いたします。

続きまして、スポーツコミュニケーション学科についてご説明します。

スポーツコミュニケーション学科のカリキュラムは、令和6年度も引き続きましてパラスポーツ指導員資格の取得と専門学科の2本柱で授業を進めさせていただきます。

授業内容につきましては、いくつか変更がございます。

まず、1つ目は、イベントの企画に関わるカリキュラムとしまして、これまで「企画書作成実習」という授業を行っていたのですが、ご担当いただいていた講師が令和6年度からご自身の勤務の都合でお引き受けいただけなくなりましたので、新たな講師をご紹介いただきまして、授業内容に過不足ないように調整しながら、これから対応をしていただきます。これまで2回分の授業があったのですが、こちら新しい講師と打ち合わせを行いまして、1回で本年度は対応をしていく予定となっております。

もう1点、令和5年度に初めて授業として取り入れました「カードゲーム『こまった課?』を通じて障害について考える」という授業があったのですが、こちらがカードゲームを通じて相手の特徴を把握し、障害等の多様性について考えるという、教材そのものは障害に対して理解を進めるのにとてもよい内容だったのですが、ゲームの難易度がやや高めで、学習内容で狙った気づきを得るに至る段階に到着する前に、ゲームのルールを理解するので時間が終わってしまうという学生が何人もいらっしゃいまして、スポーツコミュニケーション学科での実施は困難かなというふうに判断しまして、削除することといたしました。

変更ではないのですけれども、前年度バスケットボールの千葉ジェッツさんにご縁がありまして、令和5年度に1コマ授業をお願いしていたのですが、こちらが学生からも大変好評であったことから次年度以降も継続して実施しまして、今後の展望としまして、可能であればクボタスピアーズさんですとか、他の地域のプロスポーツチームを講師に招いた授業がもっと多く取り組められたらと考えています。

続きまして、生涯学習コーディネーター養成学科のカリキュラムについてご説明します。

生涯学習コーディネーター養成学科につきましては、授業の内容に大きな変更はございません。いくつか変更がありまして、10月の「船橋をテーマに講座を企画してみよう」という授業については、授業後のアンケートで「時間が足りない」、「理解が難しい」などの声が多かったことと、実際に作業する時間がないためにグループでの作業をその中の一人がやってしまうというようなケースが見られたことから、令和6年度は授業回数を1回増やして4回で実施することといたしました。

生涯学習コーディネーター養成学科のカリキュラムの最後に、「生涯学習フェア」という学生が講座を企画、講師の選定、講師との打ち合わせなどを行う授業がありますが、学生が講師と打ち合わせを行う場面で、近年講師との打ち合わせをオンラインで行うことが普通になってきておりまして、一方で学生のほうがそれを行うことがまだ普通になっていないというような状況が散見されましたので、11月にタブレットを使用して「オンラインで行う打ち合わせZ o o m活用」と題して、Z o o mの使用方法を学ぶカリキュラムを追加いたしました。

続きまして、ふなばしマイスター学科です。

ふなばしマイスター学科につきましては、令和5年度から授業内容を一部見直し、授業の追加・整理を実施しました。

近年、船橋市内のプロスポーツチームの活躍が目覚ましいことから、講師に千葉ジェッツ、クボタスピアーズ船橋・東京ベイ担当者を招きまして、「船橋のプロスポーツの魅力」という授業を追加、また、新たに「郷土資料館見学」や「ボランティア活動の心構え」などの授業を実施いたします。

整理した授業については、「ボランティア概論」、「漁港の朝市」等の授業です。

まちづくり学部の授業のカリキュラムについては以上です。

続いて、いきいき学部の授業についてご説明します。

くらしの教養学科についてご説明します。くらしの教養学科は、これまで懸念していま

したコロナの影響が小さくなってきていることを踏まえまして、令和6年度は施設訪問や街歩きなどを行おうと考えています。「消防庁舎見学・火災予防講話」と「船橋街歩き」を追加、そして、「船橋初！国史跡指定取掛西貝塚」を整理しました。取掛西貝塚の授業につきましては、国指定を受けてから時間が経ちましたので、他の授業と一度差し替えをさせていただきます。

続いて、こころとからだの健康学科です。こころとからだの健康学科につきましては、これまで取扱いのなかった栄養学についての知識に触れるために、「栄養学の基礎知識、栄養とからだ」、また、運動を楽しむ授業として「卓球バレー」という競技を実施することとしました。

続いて、パソコン学科です。パソコン学科については、引き続き基礎から初級レベルの内容を学習するカリキュラムを実施する予定です。

続きまして、園芸学科です。

園芸学科1につきましては、カリキュラムに大きな変更はございませんが、授業の実施時間につきまして、昨夏の猛暑が令和6年度以降も継続することが予想されますので、新たな試みとしまして、8月の授業については授業を1時間早めるサマータイムを導入することといたしました。これがどの程度影響があるかは分からないのですが、記憶では7月も9月も暑かったように記憶しておりますので、まずは一度どの程度改善が見られるかということを確認しつつ、次年度、幅を拡大するのかどうか検討していきたいと考えています。

続いて、最後になりますが園芸学科2についてです。園芸学科2につきましては、今年度まで菊を栽培する、育てる授業を行っていたのですが、今年度までお世話になった菊の講師がご勇退されるということで後任の講師を探したのですが、なかなか後任の講師を見つけることができなかったために、菊に代わりまして、これまで扱いのなかった観葉植物や球根類の育て方など、取り扱う植物の種類を増やしまして、様々な学生のニーズに対応できるように授業の変更をいたしました。

令和6年度カリキュラムについては以上です。

○高山会長

ありがとうございました。

ただいまの議題3「令和6年度カリキュラムについて」、質問等がありましたらお願いいたします。

特段よろしいですか。

それでは議題3を終了いたします。

続きまして、議題4「市民スマホコンシェルジュ養成講座の実施報告について」の議事に入ります。

事務局から説明をお願いいたします。

○事務局（古川主事）

ふなばし市民大学校事務局の古川です。

議題4「市民スマホコンシェルジュ養成講座の実施について」、ご報告をいたします。

お手元の資料4「市民スマホコンシェルジュ養成講座の実施について」をご覧ください。

まず、市民スマホコンシェルジュ養成講座については、スマートフォンに悩みを持つ人を地域でサポートする市民スマホコンシェルジュを養成することで、スマートフォンの活用について地域でアドバイスできる人を増やし、地域課題となっている市民のデジタルデバイドの解消を目指すことを目的に、昨年度から行っている事業でございます。

今年度は株式会社ジェイコムの職員を講師に迎え、募集を開始いたしました。10月1日の広報ふなばし及び市ホームページへの掲載、また、公共施設へのポスターの掲示やチラシの配布を行いまして、定員20名のところ18名の方からお申し込みをいただきました。その後、予定が変わって行けなくなった方がいらっしゃり、全5回の講座の参加数は1回目が15名、その後予定が合わなかったり体調不良などで欠席される方がいらっしゃって、最終的には13名の方が参加し、修了いたしました。修了者の年代につきましては、裏面の表のとおりでございます。

この講座を修了した市民スマホコンシェルジュの方には、それぞれお住まいの地域で各自活動していただくこととなりますが、市民の方への対応、また、ある程度場慣れしていただくことが必要であろうということを考え、公民館で開催しているデジタルデバイス対策講座でのボランティア活動を希望する方には、あらかじめ登録をしていただくことといたしました。そうしたところ、修了生13名全員にご登録をいただき、令和5年度の公民館で行っているデジタルデバイス対策講座で活動を行っていただいているところでございます。

また、社会教育課で行っている生涯学習サポート事業、自分の技能や知識をボランティアとして生かしたい人に登録していただき、何かを学びたいと思っている人を結ぶ事業になりますが、こちらについては社会教育課職員から最終日に事業の紹介をし、1名の方

に登録をいただくことができました。

表の以下については、受講者のアンケート結果をまとめたものとなります。

全体を通して、講座では多くのグループワークやロールプレイングなども行い、参加者からも積極的な質問がなされ、非常に活発な講座となりました。全体を通して、昨年に引き続きボランティア活動のきっかけづくりになることができたのではないかと考えております。

また最後に余談となりますが、株式会社ジェイコム取材が入り、講座の様子や受講者のインタビューがジェイコムのテレビ番組にて放映されて、また広く市民へ周知が図られたのではないかと考えております。

簡単ですが、説明は以上となります。

○高山会長

ありがとうございました。

ただいまの議題4「市民スマホコンシェルジュ養成講座の実施報告」について、質問等がありましたらお願いいたします。

古川さん、修了生は公民館等で自分の学んだ知識・技能を市民に教えるとか、そういう方法はかなり進んでいるのですか。

○事務局（古川主事）

そうですね。公民館で行っているソフトバンクですとかジェイコムが主催する講座にボランティアとして活動していただいておりますが、今現在、実際に新高根公民館ですとか中央公民館から、「来ていただいて活動していただきました」と報告をいただいております。

○高山会長

分かりました。

○石川副会長

メーカーが無料で講習をやっていますよね。

○事務局（古川）

そうですね。公民館は協定を結んだ上で、様々な講習をしていただいております。

○高山会長

ほかに何かございますか。

特段ないようでしたら、議題4を終了いたします。

続きまして、議題5「特別講座ふなばしソーシャルビジネスコースの実施報告につい

て」の議事に入ります。

事務局から説明をお願いいたします。

○事務局（大橋主査）

それでは、議題5「特別講座ふなばしソーシャルビジネスコースの実施報告について」、ご説明いたします。資料5をご覧ください。

項目の1から6まで、このコースの目的ですとか日時、対象などについては、前回の運営協議会の中で既にご説明をさせていただきましたので、今回は割愛させていただきます。

項目の7、申込者につきまして、11月15日から12月15日までの1か月間、受講者を募集したところ、33名の方からお申し込みをいただきました。オンラインで28件、電話での申込みが5件となっております。その後2名キャンセルが出ましたので、31名の参加となりました。

項目8をご覧ください。年代分布については表のとおりとなります。40代から60代を中心に、幅広い年代の方にご参加いただくことができました。

また、今回もどなたでもお申し込みいただける講座といたしましたので、居住地が市外の方のご参加もございました。居住地別では、市内の方が24名、77.4%、市外の方が7名、22.6%となっております。市外の方は市川市の方が3名、鎌ヶ谷市の方が2名、その他で松戸の方が1名と埼玉の上尾市の方も1名いらっしゃいました。

今回の出席状況ですが、こちらは項目9のところに記載がございます。各回の出席状況ですが、前回のパラレルキャリアコースの出席率は大体7割から8割ぐらいでしたが、今回もお仕事をされている方が多かったのですが、かなり出席率がよい結果となりました。ほぼ毎回来ていただきまして、この第4回の出席率が少ないのは、前の日に大雪が降り、来ることができなかった方が多かったためですが、毎回、かなり多くの方にご参加いただくことができました。6回全てに参加された方は合計で21名となっております。

各回の受講生の評価は、10の表のとおりでございます。おおむね高い評価をいただけたのではないかと。特に、一番最後はグループワークで、皆さんの学び合ったことをフィードバックするような場になったのですけれども、最終回が一番高い評価をいただけております。

各回コメントを皆さんからいただきまして、いくつかご紹介しますと、1回目の授業ですと、「本当にワクワクする内容で、受講者一人一人が主役になれるよい講座でした」とか、「船橋に住んでいても知らないことがたくさんあることに気づかされました」という

ようなご意見をいただきました。

グループの皆さんとの共同作業で船橋というテーマで良い点や課題などを書き出すというワークをしましたが、「自分の住む土地を考えるいいきっかけとなりました」というご意見をいただきました。次回の講座で市長より、今の船橋の取組ですとか、これからのまちづくりの将来像というような話をいただいたのですが、こういった課題がその前振りになったのではと思っております。

第2回では、市長に講話をいただき、「市の現状と未来の取組がよく理解できました」ですとか「ふだんの生活ではなかなか話すことのできない市長との一对一の対話ができ、とても貴重な一日となりました」、「講座に参加されている方が船橋に対して熱い思いを持っていることを知る良い機会となりました」ですとか、「市長から具体的なお話があり、熱意を感じました」、「市民力が船橋の大きな強みとおっしゃっている点が特に印象に残りました」というようなご意見をいただきました。

第3回は、MyFuna（まいふな）の山崎さんにお越しいただきまして、地域のソーシャルビジネスに関するお話をいただきました。「講師の方のバイタリティや情熱が人を動かすことを教えられた」ですとか、かなりボリュームのある内容でしたので、「話の内容がボリュームミッドだった」、「MyFunaの事業などについてフォーカスを絞ってソーシャルビジネスの話を知りたい」というようなご意見をいただきました。

4回目は、東京情報堂の中川先生にお越しいただきまして、講師から、まちづくりや地域の活性化など、いろいろ事例をご紹介いただいたのですが、その中で「商品をつくってから買い手を探すのではなくて、需要をつくって、つながりをつくってから売り物をつくる」という話がありました。「人のつながりをベースとしているのが最大の学びです」とか、「ビジネスを始めるのであれば、その地域の特性や住民のニーズを把握しておくことが成功への一歩だと知ることができました」、「人が集まる場所の作り方の考え方ですとか、まちを知り人が集まる場所の作り方のポイントを学ぶことができました」というようなご意見をいただきました。

5回目は、船橋の方ではないのですが、大網白里市で事業をされている方で、今は主に解体のお仕事をされている方ですが、解体だけではなくて地域でスポーツクラブを運営したり、スポーツクラブの前に地元の野菜を置いて販売したりですとか、そういう人とのつながりでいろいろ事業を展開されている方を講師にお招きしております。

この方は、言葉に力がある方で、受講生も本当によいインパクトを受けた講座になりま

した。「講師の方の飾らないド直球の言葉が心に響きました。」「ビジネスは何かをつくり出すという先入観を持っていましたが、つくり出すのではなくて、まず壊して循環をさせるという形がとても新鮮でした」、「私も自分の心が震えるような楽しいことを探してみたい」というようなご意見や、あとは「親が楽しく働いていると子供も楽しくなる」というような話があり、「親としても楽しく働く姿を子供たちに見せられたらよい」というようなご意見もいただきました。

最終回は、そういった学びを皆さんで共有し合う場となりまして、3分間ですけれども、それぞれ自分の考えたことですか、この講座を受けて感じたことですか、これからやってみみたいことの発表をしていただきました。いろんな方の思いを聞くことができたので、これは受講生にとってよい刺激になったのではないかなと考えております。

資料に戻りまして、11番です。最終日に行った参加者へのアンケート結果となります。最終日は26名いらっしゃったのですが、回答数は21となっております。授業料の金額ですか、時間ですか、そういったお話を伺っておりまして、金額については「適切だと思う」という方が67%、「もう少し高くてもよい」という方が28%ということで、金額に見合った内容であったということの評価いただけたのではないかと考えております。「もう少し安くないと不満」という方が1名いらっしゃったのですけれども、「ほかの自治体では無料のところもあるので」という理由でした。無料で受けられれば一番いいのですけれども、市ではコースの内容から、ある程度の受益者負担をお願いしたいと考えているところでございます。

講座を知ったきっかけについては、一番多かったものが、やはり広報紙で42.9%、次いで、講座のチラシが14.3%。今回、前回パラレルキャリアコースを受講された方に市民大学校からチラシを直接送らせていただきましたので、それを見ていらっしゃった方が14.3%、あとは、船橋市の公式Xですか、公式X以外のSNS、これは講師の方のSNSを見たという方がおりました。

裏に行きまして、講座の開始時間ですか講義の時間の長さは、アンケート結果から現状のままでよいのではないかなと考えております。

最後に問5です。平日の夜の時間帯で参加しやすい曜日をお聞きしたところ、週初めの月曜日は最も参加しにくく、次いで、火曜日、水曜日が頂点となっており、それ以降、下がっていく結果となりました。意外に金曜日が参加しにくいということが分かりましたので、次回以降は、火曜日、水曜日を中心に講座をやっていきたいと考えております。

最後に、前回のパラレルキャリアコースのアンケートの中で自由記述を書いていただいたのですが、お仕事をされている方が多くて、指定の金融機関の窓口で授業料を支払うことが大変であったというご意見を複数いただきましたので、今回のコースから初回の授業時に現金で収納することができるように改善をいたしました。

議題5の報告については以上となります。

○高山会長

ありがとうございました。

ただいまの議題5「特別講座ふなばしソーシャルビジネスコースの実施報告」について、質問とか感想がありましたらお願いいたします。

特段よろしいですか。

それでは、議題5を終了いたします。

続きまして、議題6「その他」について、何か事務局からありましたらお願いいたします。

○社会教育課長

令和5年度最後の会議になりますので、私のほうから一言ご挨拶させていただきたいと思えます。

令和5年度は本日を含めまして3回の会議を開催しまして、委員の皆様にはお忙しい中ご出席いただき、様々なご意見をいただきまして、ありがとうございました。

4月から新たな学生を迎えて、またふなばし市民大学校の1年が始まります。前回の協議会でもご説明いたしましたが、令和6年4月1日から、ふなばし市民大学校は公益財団法人船橋市公園協会に事務局機能を委託いたします。委託の内容等につきましては、前回の説明から大きく変わった点はございません。令和6年度が委託の初年度となりますが、円滑に業務を開始できるように、これまで検討や準備を行ってまいりました。そして、この市民大学校運営協議会も令和6年度もこれまでと同様に開催してまいりますので、引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。

以上です。

○高山会長

ありがとうございました。

ただいまの課長のご説明、報告も踏まえまして、その他何かありましたら。

ふなばし市民大学校の業務委託の市民向けのPRとか、その辺はどのように考えていま

すか。

○社会教育課長

委託しますというPRというのは考えていないです。

○高山会長

もう知っている方は大分いますよね。

○社会教育課長

そうですね。修了生の団体や、いろいろなところにご説明はさせていただいたので、関係するところには割とお伝えできていると思っています。

○高山会長

何かその他でも結構ですので、この際、ありましたらお願いいたします。特段よろしいですか。

それでは、議題6を終了いたします。

以上で、本日の議事は全て終了しました。今回の全ての議事を通じて何か質問とかご意見がありましたらお受けいたします。

特段なければ、これをもって質疑を終了いたします。

本日の議事は全て終了いたしました。

なお、本日の議事録の署名は山口委員及び川田委員をお願いいたします。

(両委員 了承)

○高山会長

以上をもって、令和5年度第3回ふなばし市民大学校運営協議会を閉会いたします。

16時59分閉会